

実践的で専門的な商業教育を通じ
正しい勤労観や職業観を育てる

「商人とっとり」



企業経営者に提案した企画が 鳥取市内の店舗で実現する

地域社会に活力を与える、スペシャリストを育てる商業高校でありたいと考えます。本校が取り組む起業家育成教育とは、教科書からは学べない、生きた教材を使って生きた学びを体験する実学の場。特に今年度から「スクールプロジェクト推進事業」を立ち上げ、起業家育成教育のますますの充実を図っています。

商業教育に関連づけた体験学習は伝統的に行ってきました。生徒自身による企画立案のもと店舗経営を行う「鳥商デパート」がそれ。主に商業学科3年生の生徒が模擬デパートを開き、仕入れや販売などの商品売買に関わる活動を体験し、地域と交流を図るといふもの。今年度で13回目を迎えた伝統行事で、毎年12月に本校体育館を中心に2日間開かれ、約800人が訪れる規模になりました。これを発展させ、系統化を図ろうと今

年度から始まったのが「商人（あきんど）とっとり」。実践的な体験活動を通してビジネスに必要な知識を身につけるとともに、正しい勤労観を養い将来の進路に役立てるのが目的です。今回、商業科の生徒8人が「課題研究」で商工会議所や企業経営者と連携して、事業プランを企画し提案。それが企業経営者に認められ、既存店舗を改装し再開店するに至りました。6月から事前学習を始め、店舗比較調査や顧客視点の売場視察、起業家の起業動機のヒアリングなどを経て、事業プランを作成。若者に人気のデザートに着目し、顧客の満足度を高める手段として、来店者自身が盛り付けを楽しめるパフェコーナーを実現したのがその流れです。

実社会を考えたとき、役に立つのは机上の知識よりも実践。本来なら授業や進路指導だけで済む話かもしれませんが、社会に有為な人材育成のためにも、本校では次年度以降も実践的な商業教育をいっそう充実させていく考えです。

Selection

46

鳥取県立 鳥取商業 高等学校

School Data

鳥取県鳥取市湖山町北2-401

TEL 0857-28-0156

<http://www.torikyo.ed.jp/torisyo-h/>

●創立 1910年4月

●生徒数 925名

●取組内容 商業教育の実践として「鳥商デパート」を毎年開催。また商工会議所や商店街との連携を図り、空き店舗を活用した高校生の店「seed」を平成14年から3年間開店。その他、国際理解教育にも力を入れ、海外研修旅行を実施している

■コメントは、商業科主任 清水隆之 教諭、
商業科主任 木下重揮 教諭のお二人です

立業 島根県立 松江商業 高等学校

School Data

島根県松江市浜乃木8-1-1

TEL 0852-21-3261

<http://www.shimanet.ed.jp/matsue-ch/>

- 創立 1900年5月
- 生徒数 679名
- 取組内容 地域に根ざした中・高・大連携教育に力を入れている。また、本年度は2007島根ふるさとフェアに参加し、島根の名産品等の販売体験学習を実施。

■コメントは、商業科 横田正四郎 教諭です

4人のOBがボランティアで講師として授業に参画する

社会で活躍する先輩たちの姿は生徒の励みになるでしょうし、同様にOB、OGとして後輩たちの将来の活躍は自らの誇りにつながるもの。そんな熱い思いを今年度からビジネス教育に取り入れたのが、本校オリジナルの「ようこそ先輩講座」です。本校卒業生のボランティアによる生きたキャリア教育です。

専門教育においては、地域や産業界と連携した教育の推進が重要。本校では古くから、民間の外部講師を招き集中講義や出前講座を行ってきました。教科書では得られない実践的な学びを外部との連携により創造し、各種検定試験の取得などに役立ててきました。この講座はさらなる商業教育の活性化を図るために地域人材を活用して開くもので、机上の学びだけでは分からないことを実際に働く人から直接肌で学ぶことに意義があります。

1年生の「ビジネス講座」や商業科2、3年生の「会計簿記」「商品と流通」「研究課題」などの授業に年間30時間組み込まれています。講師は本校第60期の卒業生4人で構成され、企業経営やビジネス活動で培った経験をもとに教鞭をとり、社会人としての心構えや働くことの意味、財務諸表分析など実践的な内容の講座を展開します。受講した生徒たちからは、「なぜ勉強しなければいけないか分からなかったけど、先輩の話で自分の進路を広げるためだと分かった」といった声が聞かれました。この講座の中で必要なスキルを発見し、一人ひとりが成長していく姿は互いの励みになっているようです。

教員にとっても刺激になります。教員とは異なる視点で生徒を見つめ、その可能性を引き出そうとする先輩講師の教鞭ぶりは、教員の資質向上にも好ましい影響を与えています。今後さらに講師陣の充実を図り、本校の特色ある教育活動の一つに育てていきたいと考えています。

Selection

47

先輩卒業生から生きた学びを得、 自らの将来を考える材料とする 「ようこそ先輩講座」



オリジナル商品開発を通して
挫折を経験し

ビジネスの 厳しさを学ぶ



**理論と現実には
大きなギャップがある**

4年前から、ベンチャービジネス講座の一環として生徒の手による「オリジナル商品開発」を行っています。これは、まず新商品のアイデアを生徒に出してもらい、その中からいくつかをチョイスしてプロの方の指導の元で試作品を作り、改善を加えながら商品化するというものです。この講座の目的は、生徒が自ら商品開発に携わることで「いくら自分たちが良いと思っても売れるとは限らない」「いかに優秀なビジネス理論を実践しようとしても現実には理論通りにいかないことが多い」ということを自身で体験してもらうことが狙いです。だから、私たちが教諭は極力、口出しをしないようにしています。つまり、生徒が成功するための手助けをなるべくしないようにしているわけです。これまでオリジナルろうそく、ミサンガ、特産の桃を使ったゼリー

やプリンなど、様々なものにトライしてきましたが、どれも商品化には至っていません。もつとも、昨年開発した地元特産のみそを使ったパンは校内モニターでも好評で、商品化の最終段階にきています。

このほか地元商店街の活性化を目指したホームページ作りや地元のおかみさんが主催する「桃祭り」のイベントでの地元特産品の実践販売などに参加しています。生徒たちは、自分たちが一生懸命やりさえすれば、ホームページ作りがすぐに活性化を促し、イベントでは誰もが気安くものを買ってくれると最初は信じています。ところが現実はその甘くはありません。ホームページひとつで活気がすぐになかものを買ってくれません。だからこそ、お客さんのニーズを掴み、上手く商品をアピールするテクニックが必要なのです。そうしたことをこれらの苦い体験を通して理解してほしいのです。

Selection

48

岡山県立 玉島商業 高等学校

School Data

岡山県倉敷市玉島中央町2-9-30
TEL 086-522-3044
<http://www.tamasho.okayama-c.ed.jp/>

- 創立 1926年4月
- 生徒数 480名
- 取組内容 地元商店街とのコミュニケーションを密にしながらの実践的な商業教育を行っている。地域の人々からは「高校生のような若い人がイベントに参加してくれると活気が出る」と喜ばれている。

■コメントは、百井孝幸 教諭です

広島市立 船越中学校

School Data

広島県広島市安芸区船越6-44-1

TEL 082-822-2835

<http://www.funakoshi-j.edu.city.hiroshima.jp/>

- 創立 1947年5月
- 生徒数 251名
- 取組内容 起業家教育(トレーディングゲーム)、キャリア教育プロジェクト(ふるさと企業CM製作)を実施し、早い時期から自主性・社会性・創造性などの育成に力を入れる。

■コメントは、美越克巳 校長です

「生きる力」を身につけてほしい
我々教員も新たな発見が！

教科の学習だけでは身につかない、広い視野に立った「生きる力」を—そんな想いで2005年度より導入したのが、トレーディングゲームによる起業家教育と、地元企業のCMを作るキャリア教育プロジェクトです。

まず起業家教育ですが、これは経済や社会のしくみを体感するゲームを活用して行っています。生徒たちは数か国のチームにわかれ、資源・技術力などをもとに製品を生産し、製品取引所に持ち込んで換金する…というシミュレーションを行います。ここで大切なのは「主体的に考え、行動する」こと。また、チームワークの中で知恵を出し合っていくので、協調性も養われ、人間関係の大切さも学べます。ゲーム後は、例えば「ガソリン代が上がった、下がった」という身の回りの経済現象に関心を向ける生徒も増え、

社会性の涵養とも無縁ではないな、と感ずることもあります。

次にキャリア教育プロジェクトでは、グループごとに模擬テレビ会社を設立し、地元企業のコマースシャルづくりに取り組みます。シナリオを練ったり、絵コンテを描いたり…クリエイティブな作業を通して、生徒は創造性を高め、やがて達成感や自信というかけがえのない財産を手に入れます。普段の授業は消極的な子が実に生き生きとカメラをいじっていたり、引込み思案と書いていた子がナレーションを楽しそうにこなしていたり…そんな様子を見て我々も新たな発見をし、それを指導の場面にフィードバックもしていきます。このプログラムは、生徒のためであると同時に、教員のためにもなっているといえるでしょう。

もちろん、保護者の理解と協力もなければ、何ごとも潤滑には運びません。今後、教員、生徒、保護者が三位一体となって、こうした独自の取り組みを推し進めていくつもりです。

Selection

49

中学生の早い時期から 主体性や社会性を養うために… 独自のプログラムを導入



生徒がオリジナル商品を
企画・販売する中で

人間的な 資質も養いたい



「いいものだから」という理由で
買っていただくことが目標

3年前より周南市の商店街において、我が校の商業科の生徒によるオリジナル商品の販売実習を行っています。高校生が何かやっているぞ、ということが話題となり、地域の活性化にもつながれば…との思いもありました。どんなオリジナリティをそこに付けるか…と考えたとき、「商品包装」に着目し、贈答用の鉢花というアイデアが出てきました。これが好評で、2年目には「じゃあ新しい商品を」と、本校の卒業生であり保護者でもあるパティシエの方に協力いただいで、地域の特産品「イチゴ」と「ナシ」を使った高級ジャムづくりが実現。これまた大好評で、さらに3年目は地元のお年寄りが手作りしたお正月飾りを、生徒がアレンジして商品化していく試みへ…と展開していきます。

様々な人々と係わる中で、最初は不器用だった生徒たちもだんだん販売員と

してスキルアップし、また先生に教わるのではなく、自然と「いらっしやいませ」「ありがとうございます」もいえるようになる。これは地域の方々が育ててくださっているんだなあ、と痛感します。とかく商業科は資格をたくさん取るのが目的と思われがちです。それも大切なことだけれど、人間的な資質もしっかり身につけていくことも大切なはず。だからこの活動を続けていくんだ！と、これは声を大にしていえるでしょう。

昨年は下関商業高等学校と共同で、模擬株式会社設立から資金調達、運営、株主総会、解散までの会社経営の諸活動を体験学習する取り組みも行いました。

まだまだ「高校生だから買ってあげよう」というやさしい方々に支えられている気もします。今後は「いいものだから欲しい」という理由でもっと買っていただけるように…それを目指して、先輩から後輩へ活動の灯をリレーさせていきたいと思えます。

Selection 50

山口県桜ヶ丘 高等学校

School Data

山口県周南市公園区5626-1
TEL 0834-21-0331
<http://www.y-sakuragaoka.ed.jp>

- 創立 1940年4月
- 生徒数 595名
- 取組内容 商業科の高校生による、地域の特産品を使った商品や包装技術を活かした商品の開発、および商店街での販売実習。他校と連携した模擬株式会社の設立、運営なども。

■コメントは、進路部就職指導係 緒方奈津子 教諭です